
罪と罰 一自己解釈一

醤油

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

罪と罰 ― 自己解釈 ―

【Nコード】

N4920R

【作者名】

醤油

【あらすじ】

君の困って、少し苦しんでいる顔が

何よりも可愛くて、好きだった。その顔が見たかっただけなのに・

「あ……！先生！香奈江は……！！香奈江は大丈夫なんですよか……！？」

手術室から出て来た医師に、母は畳み掛ける様に問い続けている。

医師は、重い表情をしていた

不穏な空気が、当たりに立ちこめている、息苦しくて、僕は逃げ出したくなった

逃げ出したくなかったが、今、手術室にいる『香奈江』の安否の方がずっと気になっていた

医師が言うまで、黙っていようと決めていたが、

いつまでたっても、何も喋らないので堪らず僕も訊いてしまった

「先生！！香奈江は……！！香奈江は助かったんですよ……！！……！！」

言った後、ハツとした。

自分の声が思いのほか大きく、自分で思っている程冷静ではいれていない事に

驚いた

医師は、驚いた様に目を丸くした後

また、真剣な顔になってようやく口を開く

「ご家族の方には申し訳ありませんが……助かりませんでした……」

やっぱりな・・・

そう思う反面、受け入れたくない気持でいっぱいだった

目の前では、母が叫びながら泣きじゃくっている
何を叫んでいるのかは、聞き取れない。

全ての音が、水の中で聞いているような
籠った音にしか聞こえない
目の前が歪んで行く、色も、形も何もかもみんな

歪んで行く・・・

「僕のせいだ・・・！僕が！僕がちゃんと言う事を聞いていれば・・・！！！」
うわあああああああああ！！！」

それから、後の事は覚えていない

ただ、翌朝の僕は頭の螺子が一つ抜けてしまっていたんだ
それに、気づいたのは、ずっとずっと先の事だけだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4920r/>

罪と罰 ー自己解釈ー

2011年10月8日13時05分発行